

令和7年度

予算のあらまし



目次

1	予算規模	1
2	予算の特徴	
3	一般会計	2
4	特別会計	3
5	一般会計 歳入・歳出構成比	
6	予算・決算額等の推移	5
7	令和7年度の主要事業	7
8	市民一人あたりに使われるお金	9
9	太田市の家計簿	10

太田市のマスコットキャラクター「おおたん」です。
令和7年度の予算内容と
主な事業を紹介します。



令和7年度太田市当初予算

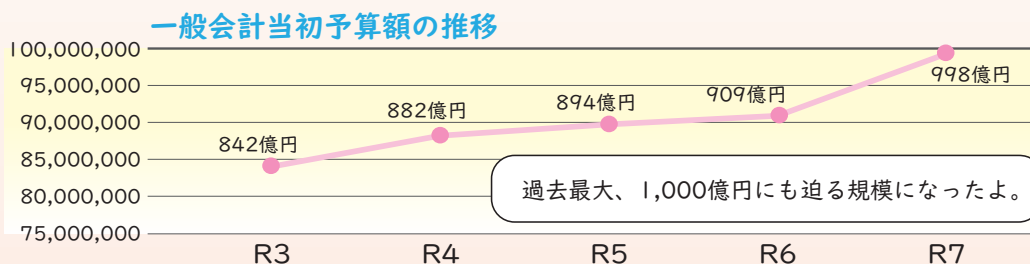
一般会計当初予算

998 億円（前年度比9.8%増）

1 予算規模

（単位：千円・%）

会計区分	R7当初予算額	R6当初予算額	比較
一般会計	99,800,000	90,900,000	9.8
特別会計	41,626,541	42,166,407	▲ 1.3
下水道事業等会計	7,297,029	7,009,116	4.1
合計	148,723,570	140,075,523	6.2



2 予算の特徴

・人にやさしいまちづくりのための予算

子育て支援として、新たにパパママリフレッシュ事業に取り組むほか、引き続き学校給食費無料化事業、私立幼稚園等給食費助成事業、第3子以降子育て支援事業、こどもプラッツ推進事業及び重層的支援体制整備事業などを実施します。

・第1次実施計画関連事業の着実な取り組み

ハード事業では、新田文化会館・総合体育館改修事業、市内公営住宅集約促進事業、小中学校照明器具LED化事業、小中学校給食施設改築事業を継続して実施するほか、本庁舎設備保全事業、（仮称）太田市外三町広域斎場整備事業、市街地再開発事業などに取り組みます。また、ソフト事業として、上記の子育て支援関連事業のほか、基幹業務システム標準化移行事業、みらい給付型奨学金支給事業、学校ICT整備事業などを実施します。

・市民満足度の向上

満足度の低い道路網の整備については、道路維持経費等を拡充して引き続き取り組むほか、住環境整備のために住宅リフォーム支援事業や空家除却補助事業を重点的に実施します。

・財源の確保

主に個人市民税と固定資産税の増により市税全体では約428億円（前年度比3.9%増）を見込んでいます。他にも国・県支出金の積極的な活用、財政調整基金からの繰入れ、さらには世代間の負担の公平を図るために市債を発行して、必要な財源の確保を図ります。

3 一般会計

【歳入】

(単位：千円・%)

項 目	R7当初予算額	R6当初予算額	比 較
市税	42,885,350	41,255,821	3.9
地方譲与税	785,625	782,458	0.4
地方消費税交付金	6,120,000	6,074,000	0.8
地方交付税	600,000	1,570,000	▲ 61.8
国庫支出金	19,828,304	15,009,406	32.1
県支出金	8,296,556	7,836,691	5.9
寄附金	421,004	206,004	104.4
繰入金	7,533,085	4,150,045	81.5
(うち財政調整基金)	(6,900,000)	(3,600,000)	91.7
諸収入	3,044,908	2,453,329	24.1
市債	5,117,600	6,541,500	▲ 21.8
(うち通常債)	(5,117,600)	(6,266,500)	▲ 18.3
(うち臨時財政対策債)	(0)	(275,000)	皆減
その他 ※1	5,167,568	5,020,746	2.9
合 計	99,800,000	90,900,000	9.8

※1 その他の内訳(R7)：各種交付金1,653,506千円、分担金及び負担金999,599千円、使用料及び手数料1,472,826千円、財産収入941,637千円、繰越金100,000千円

「臨時財政対策債」は地方交付税の補填として国から割り当てられた額を借入れするお金のことだよ。
R7年度の発行は、H13年の制度創設以来、初めて「ゼロ」になるんだ。



【歳出】

(単位：千円・%)

項 目	R7当初予算額	R6当初予算額	比 較
議会費	461,054	498,926	▲ 7.6
総務費	12,141,071	11,384,080	6.6
民生費	40,634,239	37,370,232	8.7
衛生費	8,069,442	6,814,651	18.4
労働費	75,197	81,916	▲ 8.2
農林水産業費	1,996,810	1,599,576	24.8
商工費	2,259,251	2,279,103	▲ 0.9
土木費	11,837,542	8,455,114	40.0
消防費	3,970,168	4,218,815	▲ 5.9
教育費	12,408,883	11,891,380	4.4
公債費	5,846,341	6,206,205	▲ 5.8
(うち通常債元金)	(3,377,043)	(3,752,737)	(▲ 10.0)
(うち臨時財政対策債元金)	(2,184,631)	(2,162,150)	1.0
(うち利子ほか)	(284,667)	(291,318)	(▲ 2.3)
その他 ※2	100,002	100,002	前同
合 計	99,800,000	90,900,000	9.8

※2 その他の内訳(R7)：災害復旧費1千円、諸支出金1千円、予備費100,000千円

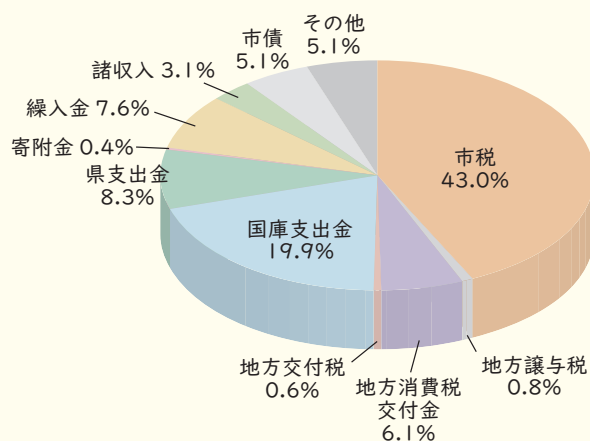
4 特別会計

(単位：千円・%)

会計区分	R7当初予算額	R6当初予算額	比較
国民健康保険	19,530,453	20,112,710	▲ 2.9
後期高齢者医療	3,552,038	3,406,530	4.3
八王子山墓園	91,863	504,810	▲ 81.8
介護保険	18,201,513	17,895,090	1.7
太陽光発電事業	250,674	247,267	1.4
合 計	41,626,541	42,166,407	▲ 1.3

5 一般会計 歳入・歳出構成比

① 歳入



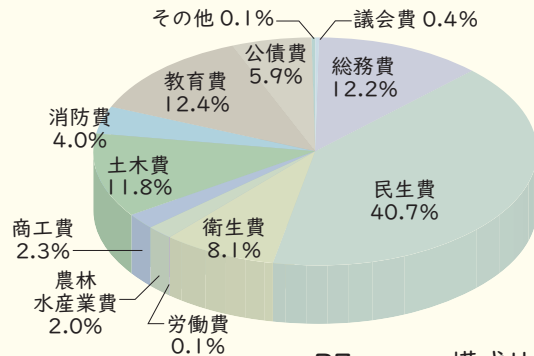
市民のみなさんや会社が納める「市税」は歳入の43.0%を占めている大切な財源だよ。公共施設の建設や保全・改修をするために金融機関等から借入れを行う「市債」は5.1%を見込んでいるよ。



(単位：千円・ポイント)

	R7	構成比	R6	構成比	構成比増減
市税	42,885,350	43.0%	41,255,821	45.4%	▲ 2.4
地方譲与税	785,625	0.8%	782,458	0.9%	▲ 0.1
地方消費税交付金	6,120,000	6.1%	6,074,000	6.7%	▲ 0.6
地方交付税	600,000	0.6%	1,570,000	1.7%	▲ 1.1
国庫支出金	19,828,304	19.9%	15,009,406	16.5%	3.4
県支出金	8,296,556	8.3%	7,836,691	8.6%	▲ 0.3
寄附金	421,004	0.4%	206,004	0.2%	0.2
繰入金	7,533,085	7.6%	4,150,045	4.6%	3.0
諸収入	3,044,908	3.1%	2,453,329	2.7%	0.4
市債	5,117,600	5.1%	6,541,500	7.2%	▲ 2.1
その他	5,167,568	5.1%	5,020,746	5.5%	▲ 0.4
合 計	99,800,000	100%	90,900,000	100%	

② 歳出



歳出の40.7%を「民生費」が占めているよ。これは、主に子どもや高齢者、障がい者の方々のために使う社会保障費が大きいからなんだ。

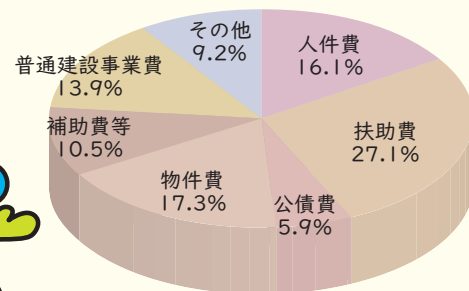
次に多いのは「教育費」だよ。授業用タブレットの更新や学校施設の照明器具LED化などを行っていくよ。



	R7	構成比	R6	構成比	構成比増減
議会費	461,054	0.4%	498,926	0.6%	▲ 0.2
総務費	12,141,071	12.2%	11,384,080	12.5%	▲ 0.3
民生費	40,634,239	40.7%	37,370,232	41.1%	▲ 0.4
衛生費	8,069,442	8.1%	6,814,651	7.5%	0.6
労働費	75,197	0.1%	81,916	0.1%	±0
農林水産業費	1,996,810	2.0%	1,599,576	1.8%	0.2
商工費	2,259,251	2.3%	2,279,103	2.5%	▲ 0.2
土木費	11,837,542	11.8%	8,455,114	9.3%	2.5
消防費	3,970,168	4.0%	4,218,815	4.6%	▲ 0.6
教育費	12,408,883	12.4%	11,891,380	13.1%	▲ 0.7
公債費	5,846,341	5.9%	6,206,205	6.8%	▲ 0.9
その他	100,002	0.1%	100,002	0.1%	±0
合 計	99,800,000	100%	90,900,000	100%	

③ 歳出 [性質別]

歳出を性質別にした内訳だよ。「普通建設事業費」が増えているのは、太田駅周辺の再開発事業や市内道路の維持補修、学校施設等の大規模改修事業等を引き続き行っていくからなんだ。

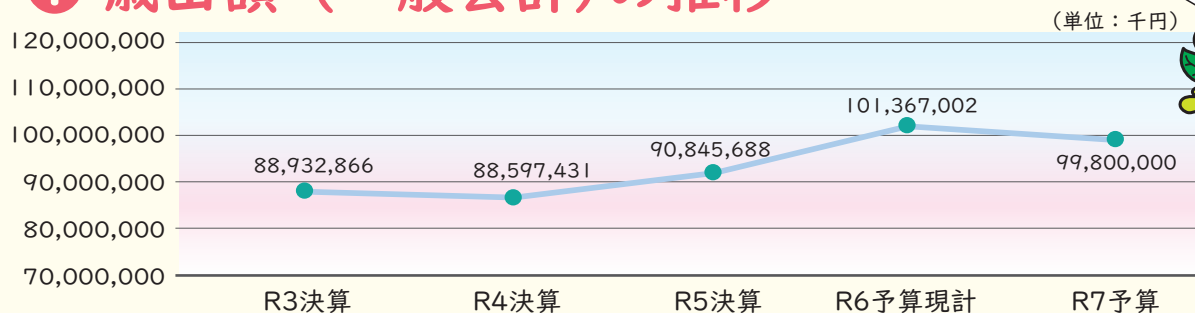


	R7	構成比	R6	構成比	構成比増減
人件費	16,063,955	16.1%	15,669,876	17.2%	▲ 1.1
扶助費	27,055,576	27.1%	24,569,938	27.0%	0.1
公債費	5,846,341	5.9%	6,206,203	6.8%	▲ 0.9
物件費	17,227,747	17.3%	15,408,376	17.0%	0.3
補助費等	10,487,314	10.5%	8,625,801	9.5%	1.0
普通建設事業費	13,900,002	13.9%	11,317,530	12.5%	1.4
その他 ※3	9,219,065	9.2%	9,102,276	10.0%	▲ 0.8
合 計	99,800,000	100%	90,900,000	100%	

※3 その他内訳 (R7) : 災害復旧費1千円、維持補修費660,456千円、積立金93,449千円、貸付金1,213,934千円、繰出金7,151,220千円、投資及び出資金5千円、予備費100,000千円

6 予算・決算額等の推移

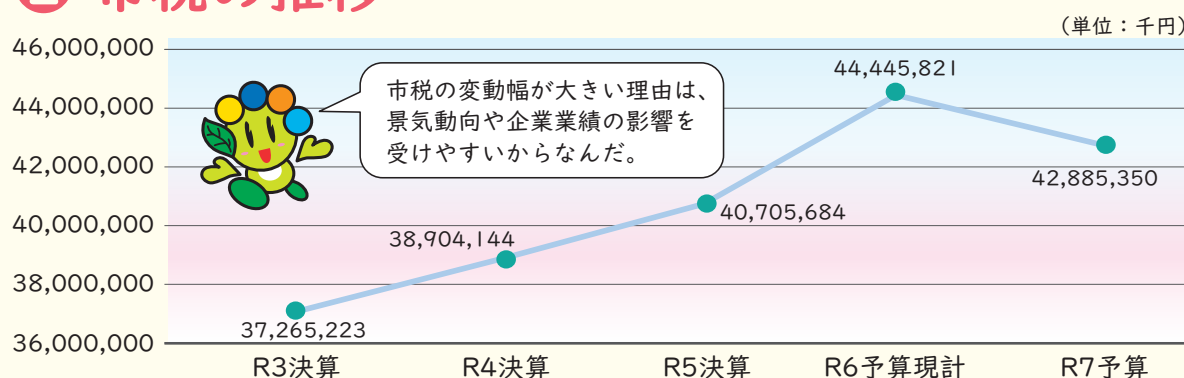
① 歳出額（一般会計）の推移



国の経済対策の規模拡大に連動して、市の歳出規模も拡大しているよ。



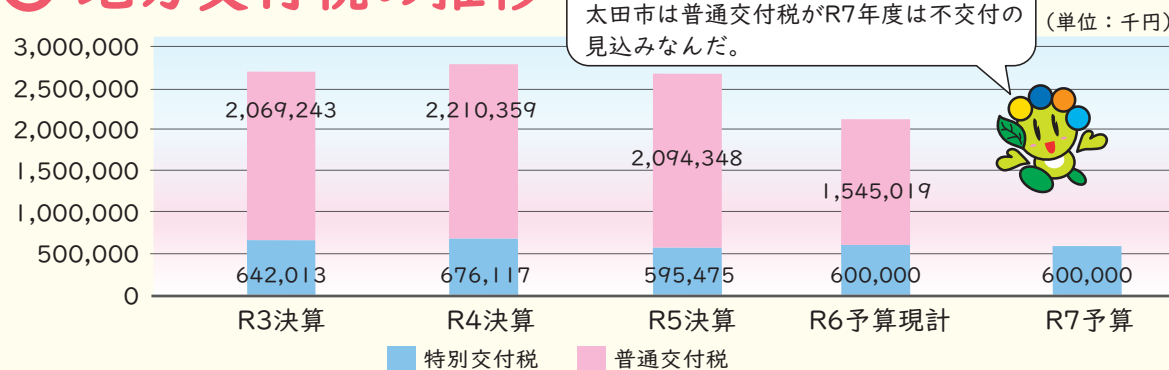
② 市税の推移



市税の変動幅が大きい理由は、景気動向や企業業績の影響を受けやすいからなんだ。



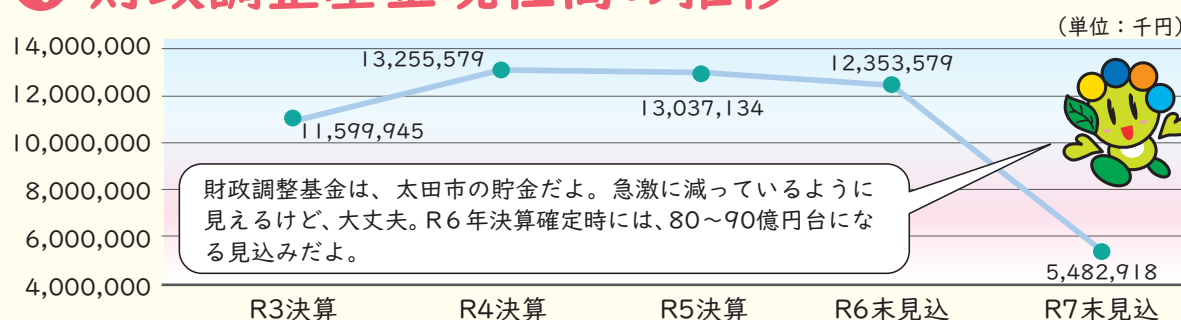
③ 地方交付税の推移



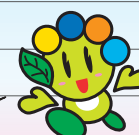
地方交付税は、地方自治体の収入格差を減らすため、国から配分されるお金だよ。太田市は普通交付税がR7年度は不交付の見込みなんだ。



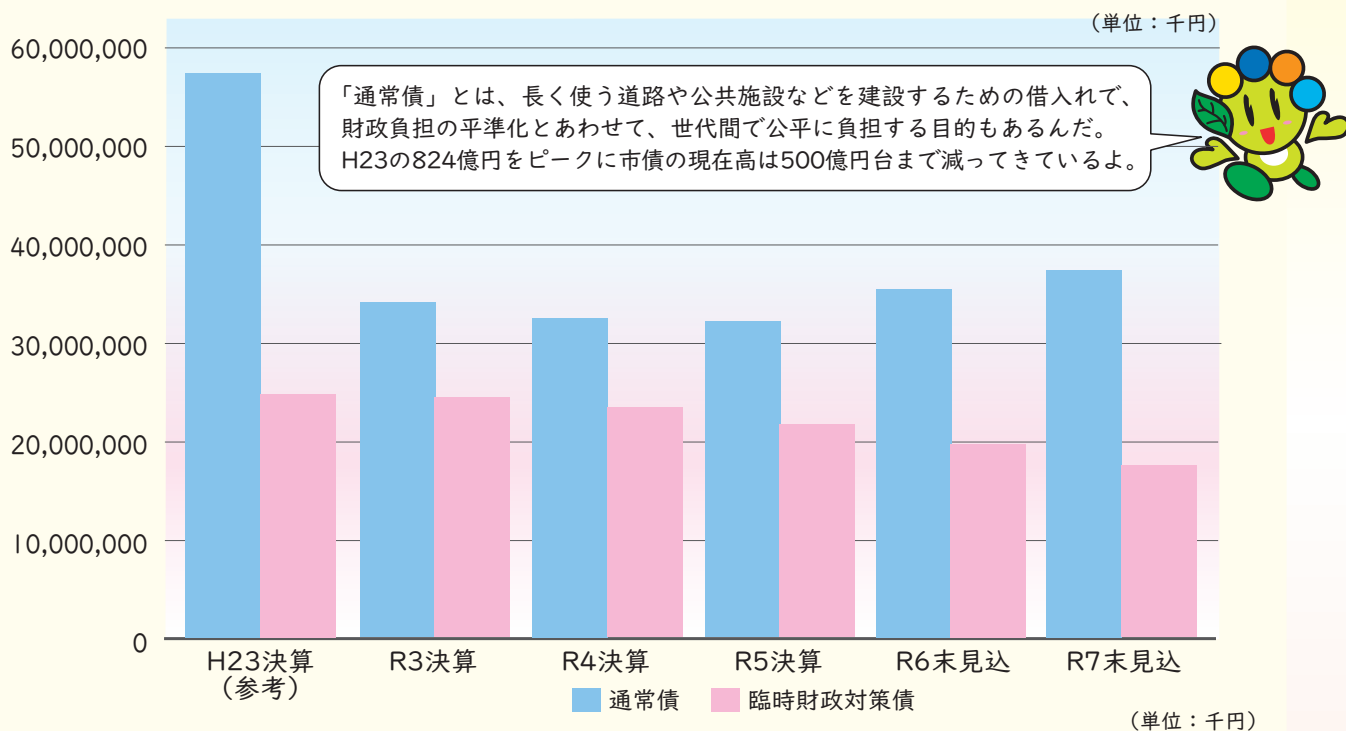
④ 財政調整基金現在高の推移



財政調整基金は、太田市の貯金だよ。急激に減っているように見えるけど、大丈夫。R6年決算確定時には、80～90億円台になる見込みだよ。



⑤ 市債現在高(一般会計)の推移



(参考) 財政健全化判断比率の推移

財政健全化判断比率とは、自治体の財政破たんを未然に防ぎ、危険な兆候がある場合には早期、かつ、計画的に健全化を図るための指標として、平成19年度決算から導入されています。太田市はいずれも「財政再生基準(赤信号)」、「早期健全化基準(黄信号)」を下回っています。

区分	R元決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	⑤ 早期健全化基準	⑥ 財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	—	—	—	11.30%	20.00%
②連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	16.30%	30.00%
③実質公債費比率	5.4%	5.4%	5.6%	6.0%	5.8%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	23.4%	45.1%	30.2%	24.3%	28.2%	350.0%	—

- ①実質赤字比率 一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(※)に対する比率
(※)自治体が通常水準の行政を行う上で必要な一般財源の額
- ②連結実質赤字比率 全会計(公営企業会計を含む)を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- ③実質公債費比率 一般会計等が負担する1年あたりの元利償還金及び準元利償還金(公営企業会計及び一部事務組合分を含む)の標準財政規模を基本とした額に対する比率
- ④将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき実質的な負債(公営企業会計、一部事務組合及び地方公社・第三セクター分を含む)の標準財政規模に対する比率
- ⑤早期健全化基準 市町村の財政規模などにより設定された数値。基準を超えた場合は、「財政健全化計画」の策定が必要
- ⑥財政再生基準 市町村、県ごとに設定された数値。基準を超えた場合は、「財政再生計画」の策定が必要

7 令和7年度の主要事業

◎ 新たな取り組み

(単位：千円)



・都市構造再編集集中支援事業補助金	568,600
・家庭用防犯カメラ購入助成金	20,000
・パパママリフレッシュ事業	15,000
・みらい給付型奨学金支給事業	30,000
・学校ICT整備事業（タブレット更新）	678,700

豊かな心を育む（学びとスポーツ・芸術）

(単位：千円)



・新田文化会館・総合体育館改修事業	904,540
・外国人児童生徒日本語指導事業	147,555
・生徒指導充実事業（おおたん教育支援隊含む）	196,637
・小中学校大規模改造事業（トイレ改修）	220,000
・小中学校照明器具LED化事業	463,733
・スポーツ施設照明改修事業	204,486
・小中学校給食施設改築事業	206,500

健やかに暮らす（福祉と健康）

(単位：千円)



・重層的支援体制整備事業	709,280
・放課後児童クラブ室建替事業（宝泉東小学校）	85,000
・こどもプラッツ推進事業	137,408
・保育園等利用児童おむつ給付事業	62,400
・老人福祉センター等改修事業（かたくりの里）	20,000
・出産・子育て応援事業	152,848
・学校給食無料化事業 （幼稚園給食費助成等を含む）	1,368,071

にぎわいを生む（産業と観光）

(単位：千円)



・大型農業機械導入支援事業費補助金	100,000
・小規模農村整備事業	150,000
・有害鳥獣対策等経費	41,401
・デジタル地域通貨（OTACO）事業	607,655
・商店リフォーム支援事業	17,000
・金融対策事業	1,157,588
・打上げ花火実行委員会負担金	25,000

安全・安心な暮らし（防災防犯）

（単位：千円）



・防犯灯維持管理事業	97,627
・宅地耐震化推進事業	25,663
・木造住宅耐震診断者派遣・耐震改修補助事業	13,240
・交通安全対策事業	150,000
・道路照明ＬＥＤ化事業	48,000
・消防水利整備事業	60,000
・消防・救急車両等整備事業	160,000

便利な暮らし（都市基盤）

（単位：千円）



・お買い物クラブ運営事業	11,250
・デマンドバス運行事業	52,708
・市営無料バス運行事業	23,289
・道路改良・整備事業（道路維持経費等）	1,570,132
・幹線水路整備事業	50,000
・市街地再開発事業等補助金（太田駅南口第三・第四地区）	4,141,800
・土地区画整理事業 （太田駅周辺、東矢島、宝泉南部、尾島東部）	626,119

快適な暮らし（住環境と自然）

（単位：千円）



・ごみ収集業務委託料	711,079
・第一・第二クリーンセンター施設整備事業	286,000
・空家等対策事業	63,352
・住宅リフォーム支援事業	120,250
・排水対策事業	146,000
・公園トイレ改修事業	91,000
・市内公営住宅集約促進事業 （鳥之郷２期、大島２期等）	357,911

みんなで支え合う（参画と行政運営）

（単位：千円）



・１％まちづくり事業	61,000
・本庁舎設備保全事業	319,631
・基幹業務システム標準化移行事業	681,141
・旧新田保健センター改修事業	80,000
・行政センター保全（改修）事業 （太田・宝泉・毛里田・木崎）	139,966
・広域斎場整備事業（建設事務費・建設事業費）	1,082,716
・太田市外三町広域清掃組合負担金 （管理運営費・建設事業費）	1,064,911

8 市民一人あたりに使われるお金

令和7年度一般会計当初予算額998億円を人口222,951人（R7.1月末現在）で割り、市民一人あたりに使われるお金を算出しました。

市民一人あたりに使われるお金(年間) 447,632 円

総務費

市役所の全般的な事務などに使われるお金



54,456 円

民生費

子どもやお年寄り、体の不自由な人のために使われるお金



182,256 円

衛生費

ごみ・し尿処理や予防接種などに使われるお金



36,194 円

労働費

雇用対策・失業対策などに使われるお金



337 円

農林水産業費

農業の発展や土地改良のために使われるお金



8,956 円

商工費

商工業の発展や観光のために使われるお金



10,133 円

土木費

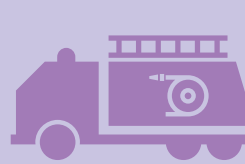
道路や河川、公園などの整備に使われるお金



53,095 円

消防費

消防活動や災害を防ぐために使われるお金



17,807 円

教育費

小・中・高等学校の経費や市民の学習・文化活動に使われるお金



55,658 円

公債費

借りたお金を返すために使われるお金



26,223 円

その他

議会費・予備費
その他の支出



2,517 円

さらに詳しい予算の内容は、「令和7年度予算案の概要」としてホームページに公開しているよ。



歳出額998億円を太田市の人口で割ると一人あたり45万円にもなるんだね。
太田市のまちづくりの目標でもある「みんなの笑顔がすぐそばにあるまち おおた」を目指して予算を大切に使っていくよ。



9 太田市の家計簿 ～太田市を一般家庭に例えたら～

太田市の予算を身近に感じていただけるように、一般家庭の家計簿に例えてみました。
市民一人あたりに使われるお金447,632円を一か月分の家計と想定して表しています。

収入

	R7 447,632円	比較 39,195円	R6 408,437円
給料 市税	192,353円	6,980円	185,373円
親からの仕送り 国・県支出金、地方交付税、 各種交付金など	167,230円	16,261円	150,969円
パート収入 分担金・負担金や使用料・手数料	11,090円	▲ 20円	11,110円
銀行等からの借入れ 市債	22,954円	▲ 6,439円	29,393円
預貯金の取崩し 繰入金	33,788円	15,141円	18,647円
雑収入 諸収入など	20,217円	7,272円	12,945円



前年度と比べると、家計の規模は39,195円増えたよ。要因としては、主に国からの補助金である「親からの仕送り」の増と、預貯金の取崩しの額が大きいね。

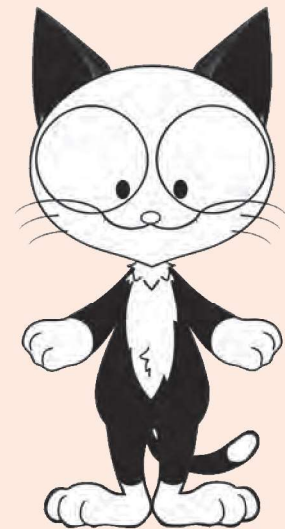
支出

	R7 447,632円	比較 39,195円	R6 408,437円
食費、被服費 人件費	72,051円	1,642円	70,409円
養育費、教育費、医療費 扶助費	121,352円	10,953円	110,399円
ローンの返済 公債費	26,223円	▲ 1,663円	27,886円
家の増改築、修繕費用など 普通建設事業費・維持補修費	65,308円	11,546円	53,762円
光熱水費など生活雑費 物件費	77,271円	8,037円	69,234円
冠婚葬祭費、区費などの諸会費 補助費等	47,039円	8,281円	38,758円
その他 貸付金、繰出金など	38,388円	399円	37,989円



前年度と比べると、主に「家の増改築、修繕費用など」が増えているよ。これは、施設や道路等インフラ関係の整備を引き続き行っていくからなんだ。
また、「養育費、教育費、医療費」も増えているけど、これは子どもや高齢者、障がい者の方々のために使う予算が年々増えているからだよ。

R6は令和6年度一般会計当初予算額909億円を人口222,556人（R6.1月末現在）で割った市民一人あたりに使われるお金408,437円で算出



NEOTA
ネオタ